

健康づくりは 幸せづくり

Making Health
is making happiness



第60期

株 主 通 信

平成25年4月1日～平成26年3月31日

Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.4
研究開発の状況	P.6
研究開発パイプライン	P.7
生産物流の状況／次期の見通し	P.8
トピックス	P.9
株主様ご優待のお知らせ	P.10
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

Z E R I A

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第60期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

当社は、第7次中期経営計画期間(平成23年度～平成25年度)において、収益体質と財務体質が大幅に改善され、株価も堅調に推移するなど、企業体質を大きく改善することができました。また、当社オリジナル新薬で世界初の機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」を国内で上市いたしました。

また本年4月からは、「飛躍の」と位置付けた、平成26年度を起点とする3ヵ年の第8次中期経営計画(平成26年度～平成28年度)をスタートさせました。本計画では、「車の両輪」としております医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業を力強く成長させるとともに、欧州に続いてアジアにおいても事業展開の第一歩を踏み出し、グローバル企業としての基盤強化を図り、継続的な発展を果たしてまいります。

本中期経営計画のスタートを機に、経営体制を新たにすることとし、平成26年6月27日開催の第60回定時株主総会終了後開催された取締役会の決議により、代表取締役会長兼CEOに伊部幸顕が、代表取締役社長兼COOに伊部充弘が就任いたしました。今後、伊部幸顕は代表取締役会長兼CEOとしてグループ経営全体に関わる判断と経営基盤の強化に向けた役割を、伊部充弘は代表取締役社長兼COOとして中期経営計画など成長戦略の着実な実行に向け、業務執行責任者としての役割を担ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO

伊部 幸顕

代表取締役社長兼COO

伊部 充弘



代表取締役会長兼CEO
伊 部 幸 顕

代表取締役社長兼COO
伊 部 充 弘

当連結会計年度におけるわが国経済は、アベノミクスによる諸施策の浸透を背景に企業の生産活動や個人消費に改善がみられ、緩やかながら回復基調を辿りました。

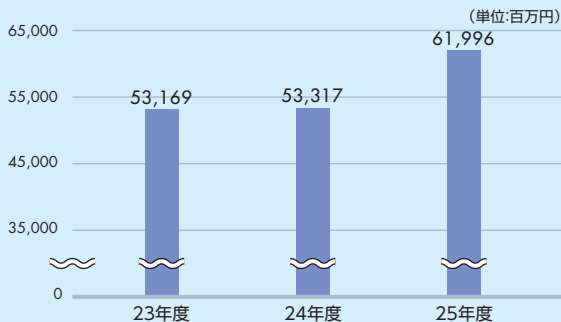
一方、医薬品業界におきましては、医療用医薬品は後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましても、依然として国内需要の前年割れの状況が続き市場競争が激しさを増すなど、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは第7次中期経営計画(平成23年度～平成25年度)の最終年度にあたる当連結会計年度を、グローバル企業としての基盤づくりを加速させるとともに、従来より「車の両輪」としております医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業をさらに発展させる年と位置付け、経営資源の積極的な投入を行ってまいりました。また、平成25年10月に株式分割、単元株式数の変更を行うとともに、今後の成長のための事業資金を賄うため、平成26年3月に自己株式の処分を行い、総額146億32百万円の資金調達を行いました。

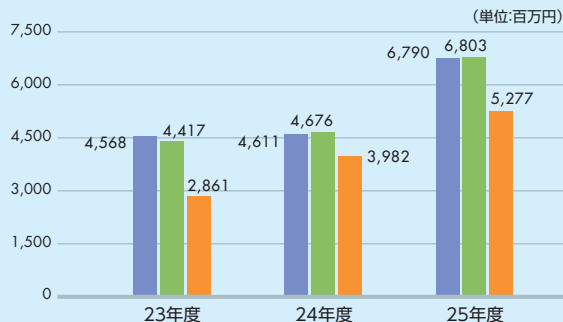
これらの活動の結果、当連結会計年度は、売上高619億96百万円(前期比16.3%増)、営業利益67億90百万円(前期比47.3%増)、経常利益68億3百万円(前期比45.5%増)、当期純利益52億77百万円(前期比32.5%増)を計上し、前期に引き続き増収増益決算となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は13.4%(前期12.4%)となっております。

売上高



営業利益(■)／経常利益(■)／当期純利益(■)



医療用医薬品事業

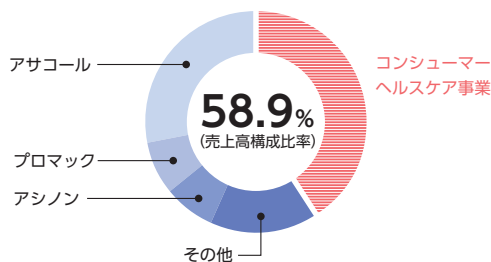
売上高

364億30百万円

（前期比 14.1%増）

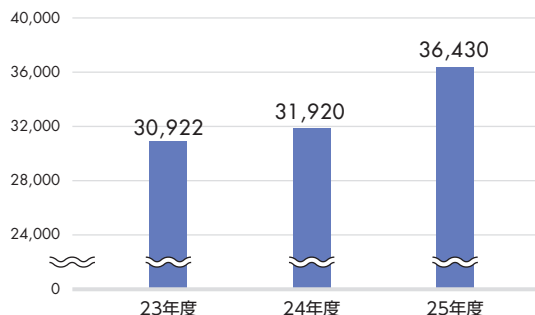
主要製品売上高

アサコール	171.9億円
プロマック	49.4億円
アシノン	44.8億円



医療用医薬品事業連結売上高

(単位:百万円)



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR(医薬情報担当者)の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、海外におきましては、Tillotts Pharma AG(以下ティロット・ファーマ)の自販体制の強化を通じ、引き続き売上を拡大いたしました。また、国内におきましても、経口メサラジン製剤でトップの医薬品とすべく市場シェアを着実に伸長させ、売上を拡大いたしました。しかしながら、H₂受容体拮抗剤「アシノン®」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」などの製品は、市場競争の激化の影響を受けて苦戦いたしました。なお、平成25年3月に製造販売承認を取得した機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」は、平成25年6月より販売を開始し、アステラス製薬株式会社と共同で早期の市場浸透に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、364億30百万円(前期比14.1%増)となりました。



コンシューマーヘルスケア事業

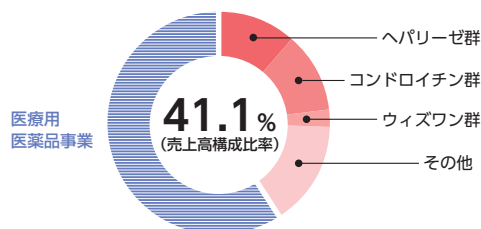
売上高

253億89百万円

（前期比 19.9%増）

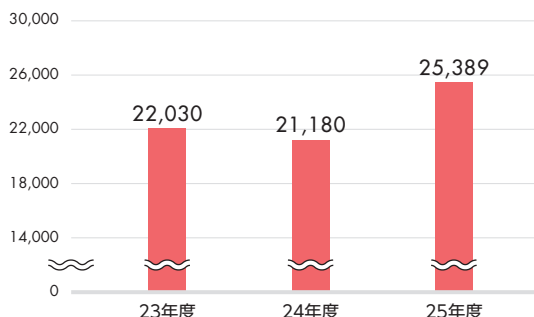
主要製品売上高

ヘパリーゼ群	71.8億円
コンドロイチン群	71.0億円
ウィズワン群	15.8億円



コンシューマーヘルスケア事業連結売上高

(単位:百万円)



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝投資を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を大きく拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ®W」は、上位品として平成25年10月に「ヘパリーゼ®Wハイパー」を発売したことも寄与し、売上を飛躍的に拡大いたしました。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、順調に売上を拡大いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン®群」につきましても、着実に売上を増加させております。

これらの結果、当事業の売上高は、253億89百万円(前期比19.9%増)となりました。



研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、日米欧3極で開発を進めてまいりました自社オリジナル品の「Z-338(アコファイド®)」につきましては、平成25年6月に機能性ディスペプシア治療剤として国内において上市いたしました。また、欧州においては、フェーズⅢを開始いたしました。

「Z-206(アサコール®)」は、潰瘍性大腸炎について協和発酵キリン株式会社と共同で用法用量を追加するフェーズⅢを実施しております。さらに、中国での開発につきましては、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを終了し、平成25年5月に承認申請を行いました。

「Z-103(プロマック®)」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅢ国際共同治験の実施準備中であります。

「Z-360」につきましては、膵臓癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅡ国際共同治験を開始いたしました。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」につきましては、

フェーズⅡbの準備を進めております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、スイスMax Zeller Söhne AGから導入いたしました月経前症候群治療薬「プレフェミン®」に関し、平成26年4月に製造販売承認を取得し、上市に向けた準備を進めております。

なお、当連結会計年度の研究開発費は、74億64百万円(前期比32.6%増)となりました。

● クローズアップ

月経前症候群治療薬「プレフェミン®」

月経前症候群治療薬「プレフェミン®」(要指導医薬品)は、欧州において月経前症候群(PMS: premenstrual syndrome)及び月経不順等のさまざまな婦人科疾患の治療に伝統的に使用されているチェストベリーの乾燥エキスを有効成分とする医薬品で、欧州において長年にわたり医薬品としての実績がある西洋ハーブ製剤です。

「プレフェミン®」は、女性の生活の質(QOL)を低下させるPMSの治療薬として、日本で初めて承認を取得した医薬品であり、軽症から中等症のPMSに対して、生活改善等の非薬物療法と並行することにより、女性のQOL改善に貢献できるものと期待しております。

当社では、現在申請中のティロツツ・ファーマから導入した「コルベルミン®」など、複数の西洋ハーブ製剤の開発を進めており、今後、西洋ハーブ製剤シリーズを当社の特徴的なカテゴリーとして構築してまいります。

● 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(平成26年5月13日現在)

1) 消化器系分野

開発段階	開発番号／一般名	開 発	適 応 症	作用機序及び特長	備 考
フェーズⅢ	Z-103/ ポラプレジンフ	自社	味覚障害 プロマック®効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	潰瘍性大腸炎 アサコール®用法用量追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅡ終了	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール®効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅡ	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品 アジア共同治験

2) その他の分野

開発段階	開発番号／一般名	開 発	適 応 症	作用機序及び特長	備 考
フェーズⅢ 準備中	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品 アジア共同治験
フェーズⅠb 準備中	Z-213/Ferric carboxymaltose	自社	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

発売となった開発品

発売日	開発番号／一般名	開 発	適 応 症	作用機序及び特長	備 考
2013年6月6日	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア アコファイド®	上部消化管運動改善作用	自社品 共同販促 (アステラス製薬)

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開 発	適 応 症	作用機序及び特長	備 考
承認申請中 (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma AG)	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ準備中 (アジア)	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)	フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)	フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)
動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。	第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法を*プラセボと比較しながら調べます。	多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、及び使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、*プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

生産物流の状況 次期の見通し

● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、当連結会計年度も「アサコール®」、「ヘパリーゼ®群」などの主力製品の売上の伸びにより、埼玉、筑波両工場の生産実績は高水準で推移し、設備はほぼフル稼働の状態となっております。今後とも上記製品群の生産増加が見込まれるなか、効率的な生産体制の構築に一層注力するとともに、安定供給確保のため主力製品の生産能力の増強に着手してまいります。

● クローズアップ

「ヘパリーゼ®Wハイパー」

コンビニエンスストア向け「ヘパリーゼ®W」シリーズの第3弾として、「ヘパリーゼ®W」の処方強化した上位品、「ヘパリーゼ®Wハイパー」（清涼飲料水）を、平成25年10月1日に全国のコンビニエンスストアで発売いたしました。

「ヘパリーゼ®W」に比べ肝臓エキスの配合量を20%アップ。また、ウコンエキス（クルクミン）に加えて、新たにコンドロイチンも配合した、ピリッとした辛さの爽やかなオレンジ味のドリンクです。

「ヘパリーゼ®Wハイパー」をラインアップに加え、今後も皆様の健康をサポートしてまいります。



● 次期の見通し

平成26年度の通期連結業績予想につきましては、売上高690億円（前期比11.3%増）、営業利益74億円（前期比9.0%増）、経常利益74億円（前期比8.8%増）、当期純利益58億円（前期比9.9%増）となる見込みです。

売上高

医療用医薬品事業におきましては、本年4月に実施された薬価改定による影響はあるものの、主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」の国内外における売上拡大や、平成26年6月から長期処方が可能となる機能性ディズペプシア治療剤「アコファイド®」のさらなる市場浸透等により、増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業におきましても、主力製品である「ヘパリーゼ®群」、「コンドロイチン群」、植物性便秘薬「ウィズワン®群」等の売上拡大により、増収を見込んでおります。

利益

利益面におきましては、引き続き積極的な研究開発投資や広告宣伝投資により販売費及び一般管理費の増加を見込んでおりますが、主力製品の売上高の増加により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益を見込んでおります。

	第60期	第61期（予想）
売上高	619億96百万円	690億円
営業利益	67億90百万円	74億円
経常利益	68億3百万円	74億円
当期純利益	52億77百万円	58億円

株式分割、単元株式数の変更

当社株式の流動性向上と株主の皆様への利益還元を目的として、平成25年10月1日を効力発生日として、1株につき1.1株の割合をもって株式を分割いたしました。

また、投資家の皆様にとってより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と流動性の向上を図るため、平成25年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

当社は、今後一層、株主の皆様の期待に応える経営に努めてまいります。

自己株式の処分

当社は、平成26年3月に、自己株式765万株の処分を実施し、約146億円の資金を調達いたしました。

今回調達した資金は、当社製造工場である埼玉・筑波両工場におきまして、当社主力製品の安定供給のために必要な生産能力を確保するための設備投資資金に充当いたします。また、新薬導入などの研究開発関係やアジア地域における拠点設立などの投資に活用してまいります。

今回の資金調達による事業基盤と財務基盤の強化を通じ、今後ともグループの持続的な成長を図ってまいります。

鉄欠乏性貧血治療剤の導入

当社は、Vifor (International) AG（本社：スイス国チューリッヒ、最高経営責任者：David R. Ebsworth）と鉄欠乏症治療剤「Ferinject®」の日本国内における独占的開発及び販売に関する契約を締結いたしました。

鉄欠乏症は、慢性心不全、消化器疾患、慢性腎疾患、癌などの多くの臨床症状の重篤な合併症であり、日本では、特に女性や高齢者での発症率が高いとされております。厚生労働省の国民健康・栄養調査結果を基に推定すると、日本では約1,800万人が主に鉄欠乏症に起因する貧血の兆候を示しており、鉄補充療法が有効な治療手段となりうると考えられます。

「Ferinject®」は、カルボキシマルトース鉄を有効成分とする、画期的なデキストラン非含有静注鉄補充療法剤です。本剤は、経口鉄剤が無効または使用できない鉄欠乏症の治療剤として、現在までに世界47ヵ国で承認を取得しております。

当社では、本剤を開発コード「Z-213」として、鉄欠乏性貧血を対象とした開発を進めてまいります。

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。
当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～E、5つのコースからご希望のいずれかを、
100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはFコースをお届けいたします。
ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



B
コース

健康飲料
「コンドロビー® 濃縮液
潤甦® (じゅんそう)」2本セット



D
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液
「ZZ:CC® (ジージー・シーシー)
アドソープエッセンス (30g)」
2本セット



E
コース

上質なうるおいを実感する3品目
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



C
コース

美容・健康商品
「コンドロマックス®・アボスティー®セット」



F
コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク
「ヘパリーゼ®W」10本



財務諸表(連結)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前連結会計年度 平成25年3月31日現在	当連結会計年度 平成26年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産		30,236	49,902
現金及び預金		7,367	22,202
受取手形及び売掛金		13,625	15,484
たな卸資産		6,542	7,733
繰延税金資産		797	1,368
その他		1,916	3,122
貸倒引当金		△12	△10
固定資産		48,009	49,591
有形固定資産		21,220	21,952
建物及び構築物		6,709	7,340
機械装置及び運搬具		2,521	2,505
土地		11,593	11,578
建設仮勘定		-	10
その他		395	517
無形固定資産		12,621	13,250
投資その他の資産		14,167	14,387
投資有価証券		10,571	10,544
繰延税金資産		974	738
退職給付に係る資産		-	2,023
その他		2,672	1,129
貸倒引当金		△50	△47
資産合計		78,246	99,493

科 目	期 別	前連結会計年度 平成25年3月31日現在	当連結会計年度 平成26年3月31日現在
[負債の部]			
流動負債		24,827	25,953
支払手形及び買掛金		3,308	3,718
短期借入金		15,250	12,593
その他		6,269	9,641
固定負債		16,508	14,806
長期借入金		15,665	13,867
退職給付引当金		152	-
退職給付に係る負債		-	154
資産除去債務		73	73
その他		616	710
負債合計		41,336	40,759
[純資産の部]			
株主資本		35,285	54,025
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,414	12,716
利益剰余金		30,598	34,717
自己株式		△7,320	△2
その他の包括利益累計額		1,440	4,709
その他有価証券評価差額金		704	1,307
為替換算調整勘定		735	3,533
退職給付に係る調整累計額		-	△130
少数株主持分		184	-
純資産合計		36,910	58,734
負債・純資産合計		78,246	99,493

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで
売上高		53,317	61,996
売上原価		17,596	18,347
売上総利益		35,721	43,649
返品調整引当金戻入額		112	105
返品調整引当金繰入額		105	110
差引売上総利益		35,728	43,644
販売費及び一般管理費		31,117	36,854
営業利益		4,611	6,790
営業外収益		439	332
営業外費用		374	318
経常利益		4,676	6,803
特別利益		1,544	608
特別損失		197	102
税金等調整前当期純利益		6,023	7,309
法人税、住民税及び事業税		1,906	2,562
法人税等調整額		119	△527
少数株主損益調整前当期純利益		3,997	5,274
少数株主利益又は少数株主損失（△）		15	△2
当期純利益		3,982	5,277

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,878	6,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		571	△2,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		△3,340	9,001
現金及び現金同等物に係る換算差額		543	1,274
現金及び現金同等物の増加額		1,653	14,835
現金及び現金同等物の期首残高		5,581	7,235
現金及び現金同等物の期末残高		7,235	22,070

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	6,593	5,414	30,598	△7,320	35,285	704	-	735	-	1,440	184	36,910
当期変動額												
剰余金の配当			△1,157		△1,157							△1,157
当期純利益			5,277		5,277							5,277
自己株式の取得				△12	△12							△12
自己株式の処分		7,301		7,330	14,632							14,632
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						602	-	2,797	△130	3,269	△184	3,085
当期変動額合計	-	7,301	4,119	7,317	18,739	602	-	2,797	△130	3,269	△184	21,824
当期末残高	6,593	12,716	34,717	△2	54,025	1,307	-	3,533	△130	4,709	-	58,734

会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,322名 (連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入

役 員

平成26年6月27日現在

代表取締役 会長兼CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役 社長兼COO	伊 部 充 弘 (旧姓 多胡)
取締役副社長	遠 藤 広 和
専務取締役	降 旗 繁 弥
常務取締役	菅 幹 雄
常務取締役	森 山 茂
常務取締役	岸 本 誠
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	林 恭 弘
取 締 役	深 堀 勝 博
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	横 手 秀 和
取 締 役	河 越 利 明
常勤監査役	花 田 雅 彦
常勤監査役	高 見 幸二郎
監 査 役	小 森 哲 夫
監 査 役	中 由 規子

事 業 所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川第1・第2営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 静岡営業所
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋営業所
- 北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 東京物流センター
- 札幌物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

- 出張所 青森・宇都宮・関越・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

連結子会社 5社

Tillotts Pharma AG

資 本 金 164万スイスフラン (持株比率100%)

事業内容 IBD (炎症性腸疾患) 及び
IBS (過敏性腸症候群) 治療剤の製造・販売

ゼリアヘルスウエイ株式会社

資 本 金 85百万円 (持株比率100%)

事業内容 健康食品等の仕入・販売

ZPD A/S

資 本 金 100万デンマーククローネ (持株比率100%)

事業内容 医薬品原薬を中心としたコンドロイチン硫酸ナトリウムの製造・販売

イオナ インターナショナル株式会社

資 本 金 2億円 (持株比率100%)

事業内容 化粧品・医薬部外品の製造・販売他

株式会社ゼービス

資 本 金 1億80百万円 (持株比率100%)

事業内容 保険代理業・不動産業など

株式の状況

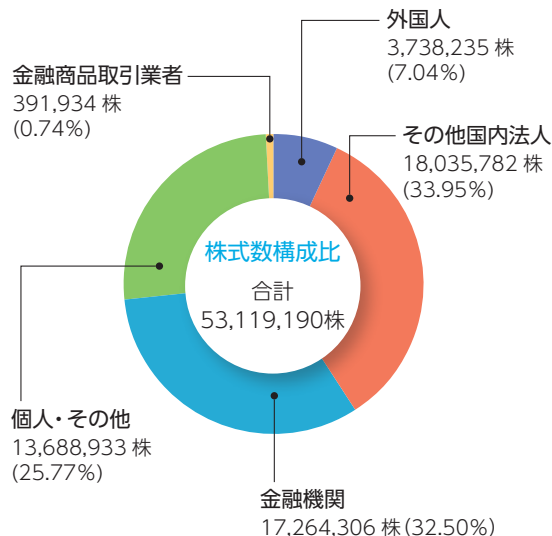
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	9,341名

大株主

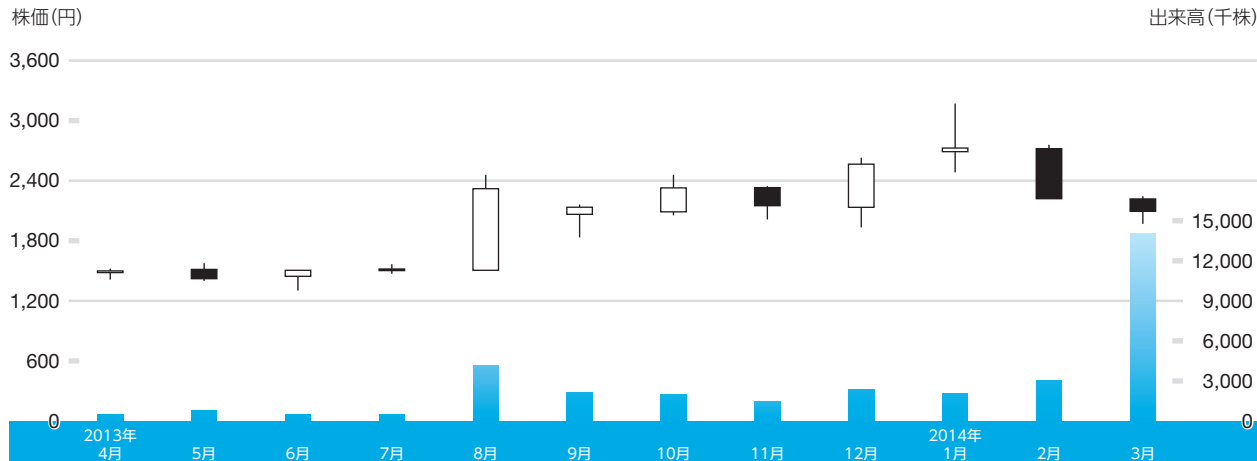
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	8.9
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,548,900	4.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,107,050	4.0
森永乳業株式会社	2,040,215	3.8
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,597,018	3.0
伊部幸頭	1,592,967	3.0
株式会社三井住友銀行	1,406,131	2.6
株式会社みずほ銀行	1,406,053	2.6
CMBL S.A. RE MUTUAL FUND	1,271,200	2.4
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.2

(注)出資比率については、自己株式(2,796株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別
措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際
は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配
当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主
様は大切に保管ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを
開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュース
まで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

<http://www.zeria.co.jp/>



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは 幸せづくり



ゼリア新薬
ZERIA